

2011年4月15日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 **ほんの部屋**

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するための活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

本は心を結ぶ

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。
2010年は国民読書年です。特に重要な柱は子どもと読書のより良い関係をつくる取り組みです。子どもが成長していく過程に豊かな読書環境をつくり、更に若い親たちにも自己啓発になるような場を提供していきます。読み終わった本を寄贈していただき、読みたい本をさしあげる循環型利用を通じて、人と本を結びつけ、人と人とを結びます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。
① 読み終わった本を寄贈していただき読みたい本をさしあげる循環型利用をします。
② おはなし会を開催し子どもの好奇心、想像力をかきたてます。
③ プロのストーリーテラーを招いて本物の語りにつれます。
④ 絵本作家による絵本づくり教室を開催します。
⑤ 日本語以外の言葉を母国語とする方における読み聞かせをします。
⑥ 児童心理学の先生との討論会をします。
⑦ 保育士さんによるうらべ唄、手遊びの講座を開催します。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

図書館との違いをアピールします。図書館では子どもが騒ぐのを周りに遠慮したり、子どもが本を破ったり、汚すかもしないからこわく行けないという声があります。ほんの部屋では人ととんとんおしゃべりします。知らない人と話しをすることで、いつも自分が居る小さなコミュニティとは違った人たちと出会い、刺激をうけ、新しい心の結びつき、人と人との絆がうまれます。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

おはなし会スタッフの育成に力を入れ、おはなし会の内容が充実してきました。講座では、いじめについての相談がなされたり、出会いの場の役割を多少なりとも果たせて来たようです。また、テレビ東京の取材があり、10月21日(木)「ニュースファイน์」の中でほんの部屋の活動が紹介されました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。参考資料あり・特になし

